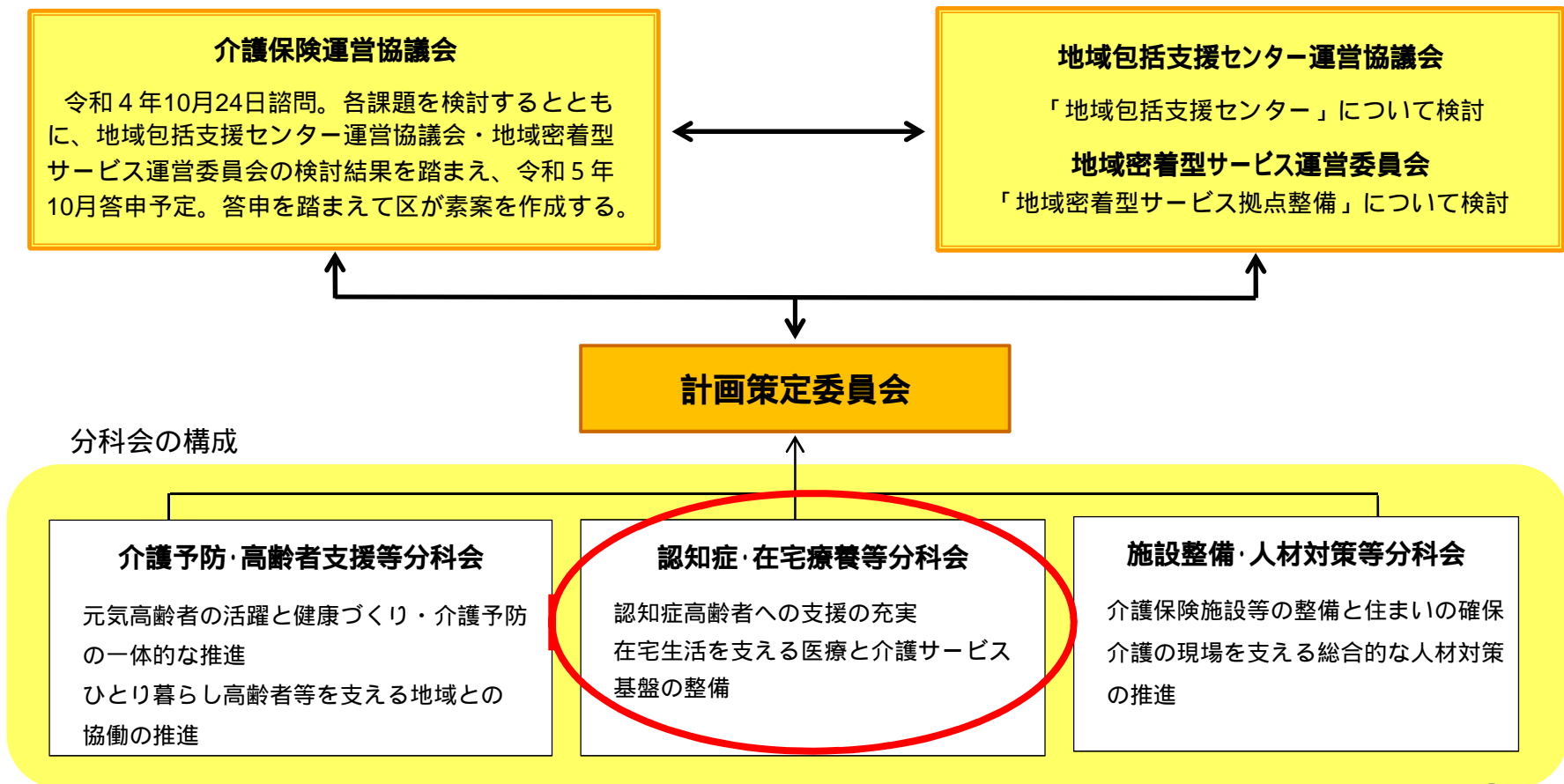


第9期計画策定へ向けて 認知症の人本人・家族からの声について

令和5年1月19日
高齢者支援課

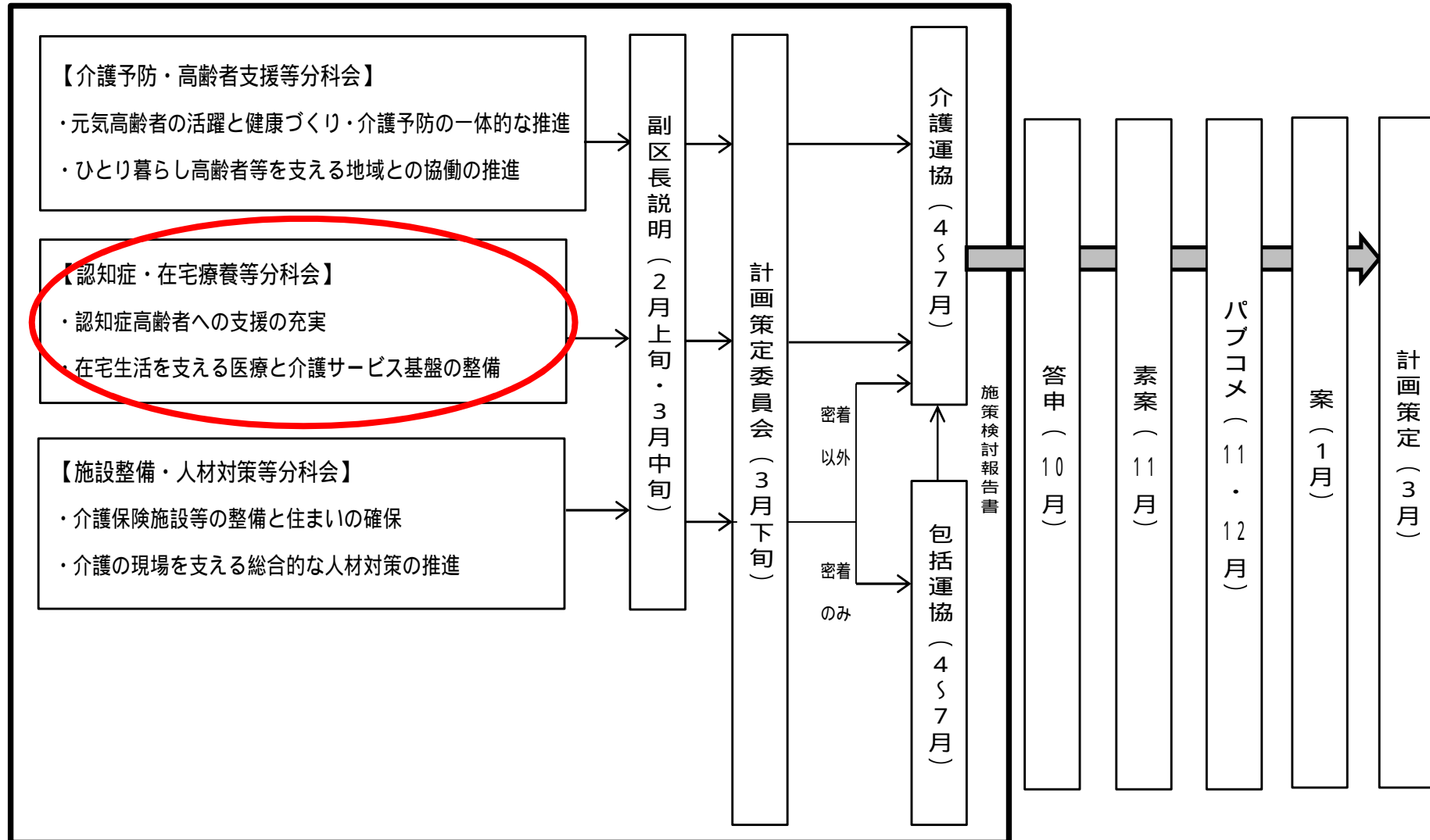
分科会の位置づけ

- 第9期計画策定に向けた提言等を行うため、区長の附属機関である介護保険運営協議会、地域包括支援センター運営協議会、地域密着型サービス運営委員会が各々の所掌する課題について検討する。
- 依頼を受けた審議機関による検討結果についての回答を踏まえ、介護保険運営協議会で答申を作成する。



第9期計画策定までのスケジュール(案)

	分科会の担当範囲	
--	----------	--



- 令和元年6月にとりまとめられた認知症施策推進大綱では、認知症の人や家族の視点を重視しながら、「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進していくという基本的な考えのもと、「普及啓発・本人発信支援」を認知症施策の柱の1つとしています。
- 本人ミーティングは、認知症の人本人が集い、本人同士が主になって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場です。
- 練馬区では、本人や家族の声を聞く本人ミーティングを開催し、認知症サポーター等とともに手芸や音楽会などの活動を行うチームオレンジ活動を実施することを第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に位置付け、令和3年度より取組みを開始しました。
- 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画立案にあたり、本人ミーティングで語られた認知症の人本人の声を活かしていきます。

本人ミーティングを起点に本人や家族の声をきく

本人ミーティングからの展開

- やさしいまちって？

日々の暮らしの中で困ったこと

あったらいいなあと思うもの、こと

- 今、いいと思うものは？うれしいこと
- そのほか本人ミーティングでの会話や様子をうかがう

施策への反映

認知症専門部会での意見